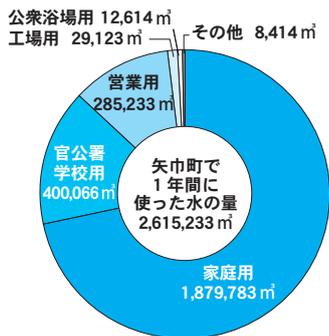


小学生の提案「環境を守るため、私たちができること」

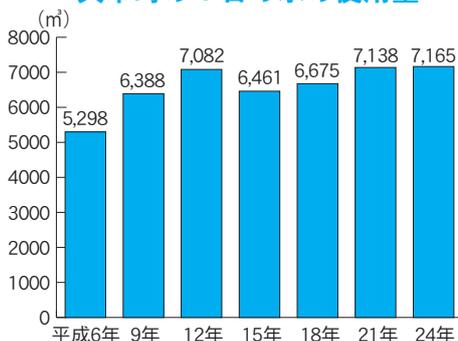


徳田小学校（小松太校長）の5年生30人が昨年の11月、国語の授業で環境についての作文を書きました。身近な環境問題について自分でテーマを決め、社会科副読本などの資料からグラフや表を用いて、環境を守るために町全体で取り組むべきことをまとめました。ここでは、その中から2人の作文を紹介します。

水の使われ方(使用水量)



矢巾町の1日の水の使用量



矢巾町の水の量は減っているのでしょうか。グラフは矢巾町の1日の水の使用量を表したものです。平成6年は五千立方メートルでしたが、平成9年になると六千立方メートルと、年々水の使用量が増えているのが分かります。矢巾町の水の使用量は、特にどこで多く使われているのでしょうか。実は、家庭で一番使われています。円グラフは、どこで、どれくらい水が使われているかを示したものです。半分以上が家庭で使われています。次に多いのは官公署や学校です。

このように、矢巾町全体の水の使用量は増えていて、家庭や学校で使われている水の量が多いのです。だから、私たちが進んで節水するように努力をしなければいけません。お風呂の残り湯を使って洗濯をする、食器を洗う時水を出しっぱなしにしない、手を洗う時には水を出したままにしないなど、家族で声を掛け合いながら水を大切にしていきたいと思います。

矢巾町の水の量は減っているのでしょうか。グラフは矢巾町の1日の水の使用量を表したものです。平成6年は五千立方メートルでしたが、平成9年になると六千立方メートルと、年々水の使用量が増えているのが分かります。矢巾町の水の使用量は、特にどこで多く使われているのでしょうか。実は、家庭で一番使われています。円グラフは、どこで、どれくらい水が使われているかを示したものです。半分以上が家庭で使われています。次に多いのは官公署や学校です。



飯田希星

【グラフ】平成24年度役場上下水道課調べ（町教育委員会発行社会科副読本第11次改定版に掲載）

矢巾町のごみの排出量

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総人口(人)	27,015	26,752	26,752	26,748	26,885
ごみ排出量(t)	10,921	10,696	10,968	11,526	11,947

資源回収の実施状況

資源物の区分		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
資源回収量(kg)	びん類	22,690	22,635	20,355	18,998	17,334
	金					
	アルミ	25,783	27,550	26,909	26,109	29,372
	スチール	12,854	12,394	10,894	11,854	10,256
	その他	650	630	774	550	460
	古紙	532,288	558,228	549,106	558,419	548,133
	古着	8,139	7,363	6,971	6,961	7,382
ペットボトル	6,867	8,843	9,754	10,603	10,110	
合計	609,271	637,643	624,763	633,494	623,047	

僕らはごみを分別すればいいと思います。理由は、ごみを処理すればごみの量が減るからです。ごみを分別して、地区内で資源回収をすればごみは減ります。ふたつ目の表を見ると、アルミやペットボトルの量が増えています。家によくあるものなので、しっかりとごみを分別しましょう。しっかりとごみを分別すればごみの量は減ります。

僕らはごみを分別すればいいと思います。理由は、ごみを処理すればごみの量が減るからです。ごみを分別して、地区内で資源回収をすればごみは減ります。ふたつ目の表を見ると、アルミやペットボトルの量が増えています。家によくあるものなので、しっかりとごみを分別しましょう。しっかりとごみを分別すればごみの量は減ります。

矢巾町の皆さん、僕は矢巾町のごみの量について気になりました。平成22年度から少しずつごみの排出量が増えています。では、どうすればいいのでしょうか。僕はごみを分別すればいいと思います。理由は、ごみを処理すればごみの量が減るからです。ごみを分別して、地区内で資源回収をすればごみは減ります。ふたつ目の表を見ると、アルミやペットボトルの量が増えています。家によくあるものなので、しっかりとごみを分別しましょう。しっかりとごみを分別すればごみの量は減ります。



大泉輝流

【表】上：一般廃棄物処理事業実態調査、下：集団資源回収調査（いずれも抜粋）